

教育学研究科・グローバル教育展開オフィス

有海 春輝

国際学会：International Congress of Psychology(ICP)

参加地・期間：Czech Republic・Prague・O₂ universum 2024/7/21-26

発表題目：Comparison of private and public self-consciousness among creators and non-creators

成果の概要

私は、7月21日から26日までチェコのプラハにて開催されていた、「International Congress of Psychology(ICP)」のポスター発表に参加してきました。ICPは5日間にわたって行われる心理学の国際学会で、4年に1度開催されます。当日は日本人だけでなく、アジアやヨーロッパの研究者の心理学者を中心に、さまざまな分野の研究者が集まり、ポスター発表や口頭発表、シンポジウム等が行われていました。

私は、自作のコンテンツをソーシャルメディアにアップロードしている人を対象に研究をしています。近年、ソーシャルメディアの発展により、誰もがイラストや小説、動画といった自作のコンテンツを投稿できるようになりました。そのような背景から、創作活動の場はオフラインの場からオンラインの場へと移り変わりました。そして、インターネット上にアップロードされる創作物も、単に消費されるだけでなく、創作者とユーザーをつなげるコミュニケーションの手段として機能するようになりました。先行研究は、その内的プロセスに着目した研究が多かったですが、私はオンラインにおける創作活動における創作者とユーザーとのインタラクションを研究することで、現代の創作活動における人間心理を明らかにすることを目的としております。ICPで発表した研究題目は「Comparison of private and public self-consciousness among creators and non-creators」で、SNS上で創作活動を行っている方とそうでない方の私的自意識・公的自意識を比較した研究です。

ソーシャルメディアの心理学研究は国内では少ないですが、国外(とりわけ中国や韓国)では盛んに行われています。今回ICPに参加したのは、私と同じくソーシャルメディアに関する心理学研究を行っている研究者の方々に向けて、私の研究を発信するためです。また、今回の研究で対象とした自意識という概念は文化差があるといわれており、海外の研究者との交流を通じてそれを学べるのではないかと考えたからです。海外での留学経験等もなく、英語でのコミュニケーションも不慣れなため、国際学会に参加することは大変勇気がいることでした。しかし、本助成金を受けられたこともあり、自分の研究を海外の人にも発信できる貴重なチャンスだと考え、勇気を出してICPに参加することにしました。

初めての英語での発表ということもあり、不安と緊張を感じながら臨んだ国際学会でしたが、当日は多くの研究者が私のポスター発表を見にきてくださりました。これまで国内での学会発表しか経験がありませんでしたが、多くの研究者とのディスカッションを通じて、国外にも私の研究に興味を持ってくださる方の存在を間近に感じる事ができ、これから研究を続けていく上で大きな自信を得ることができました。また、ソーシャルメディアにおける心理学を専門とされる他の研究者の方々のポスター発表・口頭発表を通じて最新の研究に触れられたことで、次の研究につながるためのインスピレーションを得ることができたのも、国際学会に参加できた大きな成果であると考えています。

今回、本助成金を受けられたことは、国際学会に参加するための大きな後押しとなりました。修士課程の学生は、博士後期課程の学生に比べて受けられる助成金が少なく、また非常勤講師の仕事も受けることが出来ないため、生計を立てることが難しい立場だと思えます。その中で、グローバル教育展開オフィスから支援を受けられたおかげで、金銭面の大きな負担を軽減することができ、貴重な経験を積ませていただくことができました。

今回の国際学会参加をきっかけに、今後も海外に向けて積極的に自分の研究を発信していきたいと強く思うようになりました。また、学会発表だけでなく国際誌の投稿の準備も進めていきたいと考えております。この度は貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。今回の経験を糧に、さらに研究活動に邁進して参りたいと思います。